

取組一覧

取組番号	取組名	文化財係	自由民権資料館	生涯学習センター	図書館	文学館
1-1	保護者向けの学習機会の充実			●		
1-2	家庭教育支援の担い手育成・活動支援			●		
1-3	保育室を利用した家庭教育支援事業の促進			●		
1-4	親子でことばに触れる機会の充実					●
2-1	学習情報の発信力の強化			●		
2-2	歴史・文化資源等を活用した出張事業の推進	●	●			●
2-3	子ども読書活動の推進				●	
2-4	学校図書館との連携強化				●	
2-5	生涯学習施設の利用促進	●	●	●	●	●
2-6	読書普及事業の充実				●	
2-7	シニア世代向け事業の充実				●	
2-8	障がい者サービスの充実				●	
2-9	図書館資料による情報提供機会の充実				●	
2-10	「町田ゆかりの作家」紹介事業の充実					●
3-1	地域の課題解決に向けた学習支援			●		
3-2	町田の歴史情報の提供	●	●			
3-3	「文学の扉」事業の推進					●
3-4	文化財の維持・保護・復旧の推進	●				
3-5	文化財の公開・活用の充実	●				
3-6	展示事業の充実		●			
3-7	講座・講演会事業の充実		●			
3-8	レファレンスサービスの充実				●	
4-1	市民提案型事業の推進			●		
4-2	協働による研究・発表の推進		●			●
4-3	地域で活動するボランティアの養成・支援				●	
4-4	学習成果の発表機会の支援			●		
4-5	生涯学習ボランティアバンク事業の推進			●		
4-6	障がい者の学習成果を発表する場の充実			●		
4-7	図書館運営の地域協働化の促進				●	
4-8	市民の文学活動への支援					●
5-1	支援が必要な人への学習機会の提供			●		
5-2	本と出会う場所の創出				●	
5-3	文化財の保存と活用環境の整備	●				
5-4	歴史・文化資源の調査・研究・保存		●			
5-5	図書館利用者の利便性の向上				●	
5-6	地域資料の活用の推進				●	
5-7	市民のニーズに合った図書館事業の実施				●	
5-8	町田の文学の継承					●
5-9	文学財産の保存					●

■取組1-1 保護者向けの学習機会の充実【◇】	生涯学習センター
--------------------------------	----------

事業概要	保護者を対象に、子どもの年齢や成長に応じて生じる悩みや問題の解消につなげる学習機会を提供します。実施にあたっては、保護者をはじめ学校、PTAなど幅広くニーズを調査し、事業内容に反映していきます。				
これまでの取組	0歳児・1歳児とその保護者、妊婦を対象とした「まなびのひろば事業」、乳幼児期から思春期までの保護者向けの学習講座を定期的実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①まなびのひろば*延べ参加者数		698人	880人	
	②家庭教育講座延べ参加者数		459人	570人	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	保護者の学習機会の把握		アンケート等によるニーズ調査・事業内容への反映		
	各種学習事業の実施				
年度目標（指標①）	730人	760人	800人	840人	880人
年度目標（指標②）	480人	500人	520人	540人	570人

*まなびのひろば：生涯学習センターで実施する市内在住の0歳児・1歳児とその保護者、または妊婦を対象とした子育てに関するひろば事業。手遊びやスキンシップ遊び、絵本の読み聞かせ、保護者同士の情報交換などを行う。

<2021年度の事業実績>

達成状況（指標①）	E 目標を大きく下回った、実施できなかった
取組状況（指標①）	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、中止や参加人数を大幅に制限しての実施となりました。さらに2022年1月からの感染急拡大を受けて、欠席者が増えたことから、参加者数は目標に達しませんでした。 ・まなびのひろばとして、きしゃポッポ及びパパと一緒にきしゃポッポを合計40回実施し、延べ参加者数（親）は184人でした。また、まなびのひろばで実施している親子のスキンシップ遊び、わらべうたを紹介する動画5本を子育てサイト上で公開し、延べ986回のページアクセスがありました。
達成状況（指標②）	D 目標に達しなかった
取組状況（指標②）	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、中止や参加人数を制限しての実施となりました。さらに2022年1月からの感染急拡大を受けて、欠席者が増えたことから、参加者数は目標に達しませんでした。 ・家庭教育講座では、乳幼児から思春期までの保護者向け講座を合計25回実施し、延べ参加者数は324人でした。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・社会環境の変化やライフスタイルの多様化などに対応するため、引き続き参加者以外からも市民の意見を聴取し、事業内容に反映していく必要があります。 ・新型コロナウイルス感染防止対策の観点から、安心して参加いただくための参加人数の制限も必要となっています。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年2月に策定した「町田市生涯学習センターのあり方見直し方針」に基づき、事業の見直しを行います。 ・アンケートにより保護者のニーズを調査し、実施内容に反映していきます。 ・感染状況や社会情勢の変化に応じて、なるべく多くの方が安心して参加できるよう、感染防止対策や人数制限等を適宜見直しながら事業を実施します。

■取組1-2 家庭教育支援の担い手育成・活動支援【◇】	生涯学習センター
------------------------------------	----------

事業概要	まなびのひろば事業や子育て講座などの学習機会を地域で展開できるよう、担い手を育成します。実施にあたっては、関係機関と連携しながら、ニーズの把握、育成プログラムや修了後の活動拠点などの検討を進め、家庭教育支援の充実を図ります。				
これまでの取組	家庭教育支援の担い手を育成する事業として「家庭教育支援学級」を実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①担い手育成事業修了者数（累計）		31人	164人	
	②修了者が企画した学習事業数		3事業	5事業	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	育成プログラム及び活動支援手法の研究		担い手育成事業の実施 修了者の活動支援の実施		
	修了者が企画した学習事業（3事業）実施		修了者が企画した学習事業（4事業）実施	修了者が企画した学習事業（5事業）実施	
年度目標（指標①）	31人	62人	95人	129人	164人
年度目標（指標②）	3事業	3事業	4事業	4事業	5事業

<2021年度の事業実績>

達成状況（指標①）	D 目標に達しなかった
取組状況（指標①）	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手育成事業では、保護者のための各学習講座卒業生で構成されるゼミや家庭教育担い手育成事業を合計で47回実施し、18人が新たに修了者となりました。修了者数は、2020年度までの74人と合わせて、累計92人です。 ・修了者が継続して活動を行いやすいよう、保育室等の活動場所を提供する支援を行い、計19回の利用がありました。
達成状況（指標②）	B 目標を達成した
取組状況（指標②）	<ul style="list-style-type: none"> ・修了者が企画した学習事業は「子育てフリースペースカフェつばめ」「スマイルパーティー～スマイルママ親子ひろば～」 「みんなでしゃべろう」「児童期から思春期の心と性講座」の4事業でした。 ・修了者の活動を活性化することを目的とした修了者同士の交流会を開催し、5団体12名の参加がありました。 ・3回実施された東京都公民館連絡協議会保育研修会に参加し、他市の実践を学びました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手育成事業の参加者を増やし、修了者を確保していく必要があります。 ・講座修了後、職場復帰や再就職等のため、活動の継続が難しい方が増えています。引続き活動に参加できるよう、支援していく必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年2月に策定した「町田市生涯学習センターのあり方見直し方針」に基づき、事業の見直しを行います。 ・修了者が地域での活動を継続して行えるよう、保育室の提供や活動相談などの支援を行います。 ・東京都公民館連絡協議会保育研修会を通して、他市との情報交換を行います。 ・コロナ禍でも安心して参加できるよう、消毒をこまめに行うなど、感染防止対策を行って事業を実施します。

■取組1-3 保育室を利用した家庭教育支援事業の促進	生涯学習センター
----------------------------	----------

事業概要	子育て中の市民が親子向けイベントや講座により多くの参加機会を得られるよう、また自ら活動することができるよう、市民活動団体や市の各部署に働きかけを行い、生涯学習センターの保育室を活動の場とした家庭教育支援事業の促進を図ります。				
これまでの取組	保育室は、生涯学習センターが直接事業に使用するほか、ホールや学習室等で市民の学習活動がある際に補助的に利用されています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	保育室の年間施設利用回数		280回	380回	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	情報収集 周知方法の 検討	検証	検証結果に基づく周知活動の見直し		
	市民活動団体への周知・市の各部署との調整				
年度目標	290回	300回	320回	350回	380回

＜2021年度の事業実績＞

達成状況	D 目標に達しなかった
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ホールや学習室等で市民の学習活動がある際の補助的な保育室の利用や生涯学習センター主催事業による利用のほか、家庭教育支援事業修了者への支援を拡充し活動の場として提供しました。 ・保育室を活動の場とした家庭教育支援事業について、まちだ子育てサイトやツイッターによる情報発信を行いました。 ・新型コロナウイルスの影響により施設の休館や開館時間の短縮を行い、また、開館中もおやつ等飲食の一部制限を行ったうえで施設を提供しました。保育室の年間利用回数は186回（2020年度151回）、利用人数は1,730人（2020年度1,382人）といずれも2020年度に比べ上昇しましたが、目標値には達しませんでした。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育支援の担い手育成のため、事業の参加者を増やしていく必要があります。 ・講座修了後、職場復帰や再就職等のため、活動の継続が難しい方が増えています。そのような方が引続き活動に参加できるよう、支援していく必要があります。 ・保育という特性上、一定の制限が必要となるなど、新型コロナウイルスの影響を受けやすく、感染状況に留意する必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年2月に策定した「町田市生涯学習センターのあり方見直し方針」に基づき、事業の見直しを行います。 ・生涯学習センターの主催事業や家庭教育支援事業修了者への支援のほか、市民活動団体の活動の場としての利用や、市の各部署が実施する事業での利用につながるよう、連携を図ります。 ・家庭教育支援事業修了者が地域での活動を継続して行えるよう、活動場所として保育室の提供や活動相談などの支援を行います。 ・コロナ禍でも安心して参加できるよう、消毒をこまめに行うなど、感染防止対策を行って事業を実施します。

■取組2-1 学習情報の発信力の強化【◇】	生涯学習センター
------------------------------	----------

事業概要	学習情報をより多くの市民に提供できるよう、町田市ホームページモバイル（スマートフォン版）の学習情報誌「生涯学習NAVI」の利用促進を図ります。さらに、他団体で発信している情報誌やホームページなどの情報発信媒体との連携を図り、情報発信力を強化します。				
これまでの取組	ホームページや「生涯学習NAVI」の内容を見直しました。また、学習情報に関するポータルサイトの構築に向けて検討しました。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①スマートフォン版「生涯学習NAVI」の利用促進に向けた取組の実施		未実施	実施（2020年度）	
	②新たな情報発信媒体の活用		未実施	活用（2021年度）	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	利用促進に向けた手法の検討	スマートフォン版「生涯学習NAVI」利用促進に向けた取組の実施・検証			
	情報発信媒体の把握・検討	媒体活用に向けた調整	新たな媒体の活用・検証		
年度目標（指標①）	検討	実施・検証	実施・検証	実施・検証	実施・検証
年度目標（指標②）	情報発信媒体の把握・検討	媒体活用に向けた調整	活用・検証	活用・検証	活用・検証

＜2021年度の事業実績＞

達成状況（指標①）	C おおむね目標を達成した
取組状況（指標①）	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォン版「生涯学習NAVI」の町田市HPへの掲載に加え、多摩地域の暮らしに役立つ広報誌などの電子ブックや地域情報記事を発信するサイトである「TAMA ebooks」と連携し、同社HPに電子書籍版「生涯学習NAVI」の掲載を開始するとともに、同社HPのバナーを生涯学習センターHPに設置しました。 ・二次元バーコードを記載したスマートフォン版「生涯学習NAVI」のPRカードを図書館やぽっぽ町田当で配布しました。 ・原町田地域のイベント特集や、デジタル学習特集を行い、普段手に取らない方に興味を持ってもらえるよう紙面の充実を図りました。
達成状況（指標②）	C おおむね目標を達成した
取組状況（指標②）	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォン版「生涯学習NAVI」について、「TAMA ebooks」と連携し、電子書籍版「生涯学習NAVI」を刊行しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「生涯学習NAVI」の発刊について、従来の紙媒体からデジタル媒体への意向を検討する必要があります。 ・新たな発信媒体について、他自治体などの発信方法を参考に、引き続き研究していく必要があります。 ・デジタル化を推進する一方で、デジタルデバイスにも留意し、必要とする全ての方に情報が届くよう配慮が必要です。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォン版「生涯学習NAVI」での取り組みを活かし、更なる情報発信力の強化を図るため、デジタルの活用に取り組みます。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、集合形式の講座・イベント等の開催が難しくなっているため、インターネットを利用したイベントの開催や動画配信等による学習コンテンツの紹介、集合形式とオンライン形式を合わせたハイブリッド形式等、市民の安全・安心に配慮した学習機会と情報の提供を行います。 ・庁内外の生涯学習の担い手と連携し、PRの相乗効果を目指します。

■取組2-5 生涯学習施設の利用促進	文化財係・自由民権資料館・生涯学習センター・図書館・文学館
--------------------	-------------------------------

事業概要	より多くの市民に生涯学習施設を知ってもらい、幅広い世代の利用につながるよう、リーフレットやホームページ、SNSを利用した情報発信のほか、各施設の相互PRをはじめ、市内外の各機関と連携したPR活動を進めます。				
これまでの取組	リーフレットやホームページ、SNSを利用した情報発信を行っています。				
活動指標	指標	現状値（2017年度）	目標値（2023年度）		
	①連携して行うPR活動件数	4件	10件		
	②SNS発信数	219回	800回		
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	新たな連携 先の検討・ 調整	新たな連携 先とのPR 活動の実施	検証	検証結果に基づくPR活動の 見直しと実施	
	SNSを利用した情報発信				
年度目標 (指標①)	5件	6件	7件	8件	10件
年度目標 (指標②)	520回	610回	670回	720回	800回

<2021年度の事業実績>

実績値 (指標①)	A 計画以上に目標を達成した
取組状況 (指標①)	各施設等において、下記のとおり合計21件の連携PR活動を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・文化財係：文学館、堺市民センターでの出張展示解説（2件）。 ・自由民権資料館：中央図書館での特集コーナー設置（1件）。 ・生涯学習センター：考古資料室と連携によるHP掲載動画の作成、民間HPへの講座情報掲載、人権週間での事業PR、中央図書館での特集コーナー設置、地区協議会と連携しての講座実施、市民センター等でのなんでもスマホ相談室の実施（7件） ・図書館：3R推進課のスクルトンごみ収集車と移動図書館の合同訪問、移動図書館車の保育園、幼稚園、子どもクラブへの出張訪問、移動図書館車の町田シバヒロや大地沢青少年センターでのイベント参加、さがまち学生Clubとの協働による移動図書館のPR動画作成（6件） ・文学館：広報課との連携による「『ポケふた』ミニ展示」、「のりものえほん展」における交通事業推進課との連携によるバスの絵展示及び商店会との連携によるジオラマ展示、町田モディでの出張展示、「ことばらんどショートショートコンクール」における小中学校への出張授業（5件）
実績値 (指標②)	A 計画以上に目標を達成した
取組状況 (指標②)	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設等において、施設の開館情報や講座・展覧会・イベント情報など合計2,392件のSNSによる発信を実施しました。 ・文学館ではTwitterで短歌作品の募集を行うなど情報発信に留まらないSNSの新たな活用に取り組みました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントのターゲットそれぞれに効果的なSNSの研究と、発信内容や回数についてさらなる改善が必要です。 ・より多くのフォロワー及び「いいね」やリツイートで表現される反応を獲得できるよう、効果的なツイートの発信内容を検討する必要があります。
今後の取組の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い世代の利用につながるよう、リーフレットやHP、SNSを利用した情報発信のほか、各施設の相互PRをはじめ、連携施設とのPR活動を検討していきます。 ・動画の活用等、中高生にも親しんでもらえるコンテンツの提供を検討します。 ・HP、Twitterに加え、Instagramの効果的な活用を進めていきます。 ・町田デジタルミュージアムと連携し、発信力を強化します。

■取組3-1 地域の課題解決に向けた学習支援【◇】	生涯学習センター
----------------------------------	----------

事業概要	地区協議会をはじめとした地域団体や関係機関と連携・協働しながら、住民自らが課題を見つけ出し、解決に向けて行動できるよう学習支援を進めていきます。				
これまでの取組	鶴川地区の交流促進や様々な困りごとの相談の場となっている鶴川地区協議会主催「3水スマイルラウンジ」にて「学びのひろば」を共催し、地域の歴史や文化を理解する講座などを実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	連携事業を実施した地区協議会の数 （累計）		1地区	5地区	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	各地区協議会への働きかけ				
	地区協議会との連携事業の実施 （1地区）	検証	地区協議会との連携事業の実施 （1地区）	検証	地区協議会との連携事業の実施 （2地区）
年度目標	2地区	検証	3地区	検証	5地区

<2021年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴川地区協議会と共催して、和光大学鶴川ポプリホールを会場に開催している「3水スマイルラウンジ」の一企画として、地域の自然、歴史、文化をテーマにした『まなびのひろば』を実施しました。 ・玉川学園南大谷地区協議会と共催して、平和祈念事業「夏の平和イベント」として、広島平和記念公園の被爆アオギリを題材としてうたと語り「アオギリのねがい」を玉川学園さくらんぼホールと南大谷さくら会館を会場として7月に実施しました。 ・木曽地区協議会の協力のもと、2月にさかいがわ会館で「出張！なんでもスマホ相談室」を実施しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴川地区での取組は8年目となり、地域にも定着してきましたが、このまま継続していくか、新たな展開を図るか、地区協議会との協議を進める必要があります。 ・玉川学園南大谷地区は地域のNPO団体の協力を得て、木曽地区については市民協働推進課からの情報提供をもとに実施しました。事業実施にあたっては、日頃から庁内や地域団体との連携や地域状況の情報を収集をしていく必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年2月に策定した「町田市生涯学習センターのあり方見直し方針」に基づき、事業の見直しを行います。 ・鶴川地区協議会との連携、協働を継続し、地域のニーズに合った学習機会を提供します。 ・これまで連携事業を実施していない地区協議会に働きかけ、連携・協働のもと事業の実施に向けて調整を進めます。

■取組4-1 市民提案型事業の推進【◇】

生涯学習センター

事業概要	学習ニーズをより反映させた内容となるよう、市民団体の提案を基に地域課題の解決につながる学習講座を提案者とともに作り上げていく市民提案型事業「まちチャレ*」を拡充します。				
これまでの取組	地域で活動する学生団体が企画・運営する学生生活報告会*を開催するとともに、市民提案型事業「まちチャレ」を開始しました。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	市民提案型事業「まちチャレ」で実施する講座数		5講座	8講座	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	5講座実施	6講座実施		7講座実施	8講座実施
	事業実施体制の整備				
年度目標	5講座	6講座	6講座	7講座	8講座

*まちチャレ：市民が日常生活の中の課題等を基に企画提案したものを、生涯学習センターとともに実施する学習講座。

*学生生活報告会：町田市や相模原市で活躍する学生団体が、ポスターブース等で活動内容を紹介するイベント。

<2021年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「町田の詩人、心の詩人八木重吉をもっと知ろう」「ちがいをもっと知りたいな、多文化共生ってなあに?」「どうして生きづらいの?」「ロコモ予防体操」など、様々な分野の6講座を実施しました。 ・2講座は堺市民センター、木曾山崎コミュニティセンターで開催したことで、地域の課題解決につなげることができました。 ・2022年度の説明会に合わせて、2021年度講座実施団体の報告会を行い、団体同士が相互に交流する機会を設けました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年度は7講座に増えるため、多くの方が受講できるよう、開催時期を調整する必要があります。 ・生涯学習センター以外の会場で実施し、地域で学ぶ場を増やしていく必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年2月に策定した「町田市生涯学習センターのあり方見直し方針」に基づき、事業の見直しを行います。 ・企画募集の段階で、地域実施にむけて応募予定団体へ働きかけていきます。

■取組4-4 学習成果の発表機会の支援	生涯学習センター
----------------------------	----------

事業概要	生涯学習センターを拠点として活動している市民団体や、町田市及び近隣地域で活動する学生団体が、より多くの人に日頃の活動の成果を発表できる機会を提供します。				
これまでの取組	日頃の活動の成果を発表する「生涯学習センターまつり」、「学生活動報告会」を開催しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①生涯学習センターまつりへの参加団体数（来館者数）		53団体 (2,167人)	58団体 (2,500人)	
	②学生活動報告会への参加団体数		9団体	11団体	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	生涯学習センターまつりの実施（運営委員会による内容検討）				
	学生活動報告会の実施（参加学生団体への支援・内容検討）				
	新たな支援 内容の検討	新たな支援 に向けた 調整	新たな支援の実施		検証
年度目標 (指標①)	54団体 (2,230人)	55団体 (2,300人)	56団体 (2,370人)	57団体 (2,430人)	58団体 (2,500人)
年度目標 (指標②)	10団体	10団体	10団体	11団体	11団体

<2021年度の事業実績>

達成状況 (指標①)	C おおむね目標を達成した
取組状況 (指標①)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、来場型ではなく、生涯学習センターまつりの趣旨である「全ての利用団体でつくり上げるみんなのまつり」と「生涯学習センターでのサークル活動を多くの方々に知っていただく発表の場」を継続していくことを念頭に、オンライン形式で実施しました。 ・参加団体数は14団体、アクセス数は5,148回でした。
達成状況 (指標②)	B 目標を達成した
取組状況 (指標②)	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年3月にオンライン配信形式で学生活動報告会を開催し、新規団体2団体を含む11団体が参加しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センターまつりは、来場型も併用した開催を望む声があることから、実施方法を検討する必要があります。 ・学生活動報告会は、学年の切り替わりとともに、代表者やメンバーが交代する学生団体が多いため、各団体との切れ目のない繋がりづくりや支援を行っていく必要があります。また、現役の大学生だけでなく高校生や卒業生との交流や市の事業や地域団体との連携を望む声があり、事業内容の検討が必要です。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センターまつりは、オンライン形式を継続するとともに、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を行ったうえで、来場型でも開催できるような工夫を行います。 ・引き続き、学生活動報告会の開催に向けて参加団体数を維持する取組を進めるとともに、さがまちコンソーシアムや町田市地域活動サポートオフィス、庁内他部署と連携し学生や市民団体のニーズに沿った支援を行います。

■取組4-5 生涯学習ボランティアバンク事業の推進	生涯学習センター
----------------------------------	----------

事業概要	生涯学習ボランティアの知識や技能を広く市民の学習活動に活かすことができるよう、生涯学習ボランティアバンク事業の更なる周知に努め、利用件数の向上を図ります。				
これまでの取組	小学校PTA連絡協議会において、保護者向けに事業の周知を図りました。 また、事業の周知のため、生涯学習センターまつりにおいて一日体験講座を実施しました。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	生涯学習ボランティアバンクの利用件数		16件	30件	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	新たなPR 方法の検討	新たなPR 方法の実施	検証	検証結果に基づくPR方法の 見直しと実施	
	生涯学習ボランティアバンクー一日体験講座の実施				
年度目標	18件	22件	25件	28件	30件

<2021年度の事業実績>

達成状況	D 目標に達しなかった
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「町内会・自治会活動のハンドブック」への紹介記事掲載、市ホームページやTwitterによる情報発信、中学校のボランティアコーディネーター会議や生涯学習連絡会「お悩み解決LABO」での事業紹介などのPRを行ったことにより、17件の申込があったものの、新型コロナウイルスの影響でイベントが中止となり、実際に実施できたのは8件に留まりました。 ・2020年度の3件に比べ、5件増加しましたが、新型コロナウイルスの流行以降、利用、登録ともに大幅に低下し、新型コロナウイルス流行前の水準に戻っていません。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・元来、主として市民団体の利用を想定した事業ですが、近年、利用者の属性が市民サークル・団体から行政組織や施設、NPO等の法人に移行しています。2021年度は申請17件中16件がこれらの組織・施設となっています。 ・町田市の全小中学校のコミュニティスクール化に伴い、学校と地域の学習指導者をつなぐ仕組み作りが求められています。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により利用の促進が難しい状況ですが、引き続き制度の周知に努めるとともに、比較的使用頻度が高い子ども施設や高齢者施設等の利用ルールを整理し、市民の学習成果還元の際の確保を図っていきます。

■取組4-6 障がい者の学習成果を発表する場の充実 生涯学習センター

事業概要	障がいのある人が、社会で生活しながら学び続けられるように、視覚や聴覚などの障がいに応じた学習要求の調査、研究を行い、学習プログラムを開発します。その上で、発表の場を設けることで障がい者の生涯学習を推進します。				
これまでの取組	主に知的障がいのある人を対象とした障がい者青年学級において、学級ごとに学習成果の発表の場を設けるなど、生涯学習の推進に取り組んでいます。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	障がいに応じた学習成果の発表の場		未実施	実施 (2021年度)	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	調査・研究	学習プログラムの開発	事業の実施・検証	事業の実施・検証	事業の実施・検証
年度目標	調査・研究	学習プログラムの開発	実施・検証	実施・検証	実施・検証

<2021年度の事業実績>

達成状況	A 計画以上に目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 障がいのある人のための学習講座【聴覚障がい編】として全6回コースの講座「『きこえない』とともに暮らす」を実施しました。 受講者同士の交流を中心にした講座としたことで、修了団体が誕生しました。 障がいのある人のための学習講座は2021年度から2023年度までの3年間継続実施するため、1講座ごとの周知に留めず3年間を通した周知をするホームページを作成しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 障がいのある人の参加が参加者の3割に留まっており、対象とする障がいを持った方向けに配慮したPR方法の工夫が必要です。 障がいを持った方が講座を受講できるよう、手話通訳などの情報提供手段が必要です。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 主催事業以外の場でも障がいのある人の学習成果を発表する場が充実するよう団体支援を行っていきます。 地域とのつながりをつくり、深めていくため、町田市社会福祉協議会、町田市聴覚障害者協会、町田市福祉身体障害者協会、FC町田ゼルビア、その協賛企業の株式会社TERADAとの協力、連携を図ります。

■取組5-1 支援が必要な人への学習機会の提供【◇】	生涯学習センター
----------------------------	----------

事業概要	外国人居住者、障がい者、ひきこもり当事者など文字の読み書きや基礎学力の学び直しを求める人の学習機会を保障するため、学習に関するニーズ調査を行い関係機関と連携して学習機会を提供します。				
これまでの取組	障がい者を対象とした「障がい者青年学級」、ひきこもり当事者を対象とした居場所事業などを実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①多文化共生*に関する学習事業数		1事業	3事業	
	②社会的困難を抱えた人への学習事業数		3事業	5事業	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	参加者アンケート等によるニーズ調査・事業内容への反映			市民意識調査でのニーズ把握	新たな事業の実施
年度目標（指標①）	1事業	2事業	2事業	3事業	3事業
年度目標（指標②）	3事業	4事業	4事業	5事業	5事業

*多文化共生：国籍や民族などが異なる人々が、文化的な違いを認め合い、対等な関係を築きながら、ともに生きていくこと。

<2021年度の事業実績>

達成状況（指標①）	B 目標を達成した
取組状況（指標①）	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生に関する学習事業数は2事業実施しました。まちチャレ「ちがいをもっと知りたいな、多文化共生ってなあに？」では、外国や日本文化の紹介などを通してお互いの違いを理解し、共に生きるためのヒントを学ぶ場となりました。国際交流センターとの共催講演会「外国の音楽とお話と」では、外国のダンスと楽器の演奏を通して、異文化理解を深めることができました。
達成状況（指標②）	B 目標を達成した
取組状況（指標②）	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的困難を抱えた人への学習事業数は4事業実施しました。障がい者青年学級とまなびテラスを実施しました。まちチャレ「どうして生きづらいの？」では、当事者、支援者双方の立場の人が参加することで社会的困難に対する理解を深めることができました。障がいのある人のための学習講座「きこえない」とともに暮らすでは、聴覚障がいについて理解を深めることができました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・まちチャレでは、テーマを指定して募集するなど、多文化共生や社会的困難に関する学習講座で市民ニーズをより反映させた内容とする必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年2月に策定した「町田市生涯学習センターのあり方見直し方針」に基づき、事業の見直しを行います。 ・多文化共生に関する事業は、様々な視点から意識の啓発を図るよう、工夫します。 ・障がい者の多様な学習活動を総合的に支援するため、関係機関と調整を行います。 ・誰もが平等に学べる環境をつくるため、障がい者に限らず学びに支援が必要な方向けの学習支援を継続して実施していきます。